

質問日：R3.10.4			
No.	資料名・頁	質問・回答	
1	詳細仕様確認書	質問	稼働静磁場強度は3.0Tについてですが、弊社では3Tと表記しております。一般的に3.0T丁度ではなく、少し前後した数値で運用される場合があると思いますので、3.0Tではなく3Tということで参加させていただいて宜しいでしょうか。
	1-1-1-1	回答	問題ありません。
2	詳細仕様確認書	質問	ガントリボア中心部の最小径は70cm以上についてですが、ガントリボアの開口径70cm以上ということに参加させていただいて宜しいでしょうか。 ガントリボア中心部の最小径の公表値が無いため、上記でお願いできますと幸いです。
	1-1-1-3	回答	問題ありません。
3	詳細仕様確認書	質問	液化ヘリウムの消費量は、0.00リットル/時間以下という表現を、液化ヘリウムの消費量は、0リットル/時間以下ということに参加させていただいて宜しいでしょうか。 基本的にはヘリウムは減らない磁石を採用しておりますが、厳密に計算した場合に、必ずしも0.00リットルでないためお願いできますと幸いです。
	1-1-1-6	回答	通常使用にてヘリウムの定期的な補充が必要なければ問題ありません。
4	詳細仕様確認書	質問	寝台内蔵で12チャンネル以上の全脊椎用を、12チャンネル以上の全脊椎用ということに参加させていただいて宜しいでしょうか。 弊社システムは、寝台内蔵ではなく、寝台から外せ、患者さんに合わせて位置をシフトできる仕組みを採用しております。お願いできますと幸いです。
	1-1-4-6	回答	問題ありません。
5	詳細仕様確認書	質問	最大撮像視野がX/Y/Z 3軸各々の方向に50cm以上についてですが、弊社では最大撮像視野がX/Yは50cm、Zは45cmです。ご導入いただいた施設では、臨床的に大きな支障なくご使用いただいております。この数値で参加させていただいても、宜しいでしょうか？お願いできますと幸いです。
	1-3-1-1	回答	問題ありません。
6	詳細仕様確認書	質問	局所励起機能により、拡散強調画像の歪を低減できることを、拡散強調画像の歪を低減した撮像が可能であることということに参加させていただいて宜しいでしょうか。 弊社システムでは局所励起機能はありませんが、FASEシーケンスを適応するなど別の方法で歪みを低減させ、臨床でお使いいただいております。お願いできますと幸いです。
	1-3-3-4	回答	問題ありません。
7	詳細仕様確認書	質問	2Dおよび3D pCASL法が可能を、2Dおよび3D ASL法が可能にということに参加させていただいて宜しいでしょうか。弊社システムでは、ASTAR法というASL法により非造影Perfusionを撮像いただいております。お願いできますと幸いです。
	1-3-3-9	回答	「ASL法」でも問題ありません。なお、詳細仕様書1-3-3-9及び詳細仕様書確認書1-3-3-9の表現を「2Dあるいは3D ASL法が可能で、rCBFマップがカラーで評価できること」に訂正します。
8	詳細仕様確認書	質問	拡散強調画像後にADC/eADCマップが、撮像後自動で作成されることですが、拡散強調画像後にADCCマップが、撮像後自動で作成されることということに参加させていただいて宜しいでしょうか。 弊社システムではeADCマップは別途画像計算処理機能により算出いただいております。お願いできますと幸いです。
	1-3-4-3	回答	問題ありません。
9	詳細仕様確認書	質問	カラーで流速解析(1回拍出量、順行流量、逆行流量、逆流率、絶対1回拍出量、平均流量、移動距離、平均速度)ですが、流速解析が可能であることということに参加させていただいて宜しいでしょうか。お願いできますと幸いです。
	1-3-4-4	回答	問題ありません。

10	詳細仕様確認書	質問	本院のWSについて、クライアント追加作業を行うことですが、もう少し具体的な内容をご教授いただけますと幸いです。宜しくお願いいたします。
	2-2-3	回答	クライアント追加作業が不要となったため、詳細仕様書2-2-3及び確認書2-2-3を削除します。
11	MR I 評価項目確認書	質問	稼働静磁場強度は3.0Tについてですが、弊社では3Tと表記しております。一般的に3.0T丁度ではなく、少し前後した数値で運用される場合があると思いますので、3.0Tではなく3Tということで宜しいでしょうか。
	1. マグネット・ガントリーシステムについて 1	回答	問題ありません。
12	MR I 評価項目確認書	質問	液化ヘリウムの消費量は、0.00リットル/時間以下という表現を、液化ヘリウムの消費量は、0リットル/時間以下ということで宜しいでしょうか。基本的にはヘリウムは減らない磁石を採用しておりますが、厳密に計算した場合に、必ずしも0.00リットルでないためお願いできますと幸いです。
	1. マグネット・ガントリーシステムについて 4	回答	評価項目は「液体ヘリウムの補充はない仕様であること」としてはいますが、通常使用にてヘリウムの定期的な補充が必要なければ問題ありません。
13	MR I 評価項目確認書	質問	患者情報やポジショニングをタッチパネル操作で操作・確認が可能であり、撮像プロトコルに情報が反映されることを、患者情報等を表示可能であることで宜しいでしょうか。弊社システムでは、患者情報のほかに生体波形（呼吸、心電、脈波）、接続コイル名を表示することができます。お願いできますと幸いです。
	1. マグネット・ガントリーシステムについて 5	回答	問題ありません。 詳細は評価項目確認書の方法・方式欄への記載をお願いします
14	MR I 評価項目確認書	質問	56,000枚以上ですが、弊社は25,000枚以上ですが、参加させていただいても宜しいでしょうか？
	5. 制御処理システム 1	回答	評価項目ですので問題ありません。 詳細は評価項目確認書の方法・方式欄への記載をお願いします
15	MR I 評価項目確認書	質問	弊社の画像変換は、jpg、aviではなく、bmp、wmvですが、適合しているという判断で宜しいでしょうか？
	5. 制御処理システム 2	回答	問題ありません。 詳細は評価項目確認書の方法・方式欄への記載をお願いします
16	I 建築-9	質問	防音工事について 工事区分表では本工事となっていますが、添付図面には「不燃性吸音仕上材t25mm」との記載があります。 メーカー工事ではPB貼りまでとし、本工事側で吸音材を施工するとの認識でよろしいでしょうか？
		回答	吸音材仕上げまでメーカー工事区分です。
17	II 電気工事-29・30	質問	「緊急ランダウン用電源・仮設冷凍機用電源」が本工事側に追加されていますが、最終的にどのような運用を想定した物でしょうか。 工事区分上メーカー工事に対応する内容ではありませんが、装置側で対応が必要な物でしょうか？
		回答	緊急ランダウン用（単相100v 5AT）は強制的にクエンチさせるシステムになりますので常用です。仮設冷凍機用（3相200v 30AT）は導入時、メンテナンス用と考えています。なお、装置側での対応は不要です。

質問日：R3.10.6			
18	詳細仕様書・2頁	質問	1-1-4 RFシステム 1-1-4-2 最大受信バンド幅が各々のコイル1MHz以上であること。と表記がありますが、弊社では最大受信バンド幅が各々のコイル512KHzになります。受信バンド幅が高くなるとSNRが低下します。最大で使用しても512KHzが限界のため、「最大受信バンド幅が各々のコイル512KHz以上であること。」 変更お願いできますでしょうか。
		回答	現状のままとします。なお、最大受信バンド幅が各々のコイル「±512kHz以上」であれば、「1MHz以上」を満たしており、貴社の機器は問題ないものと考えています。
19	詳細仕様書・3頁	質問	1-3-3 撮像アプリケーション 1-3-3-9 2Dおよび3D pCASL法が可能で、rCBFマップがカラーで評価できること。と表記がありますが、弊社では3D pCASL法が可能となります。3D収集となるため、「2Dあるいは3D pCASL法が可能で、rCBFマップがカラーで評価できること」に変更 お願いできますでしょうか。
		回答	詳細仕様書1-3-3-9及び詳細仕様書確認書1-3-3-9の表現を「2Dあるいは3D ASL法が可能で、rCBFマップがカラーで評価できること」に訂正します。
20	プロポーザル実施要領	質問	二次審査のプレゼンテーションにメーカーの社員の同席は可能でしょうか。
	7 事業者候補者の選定（4）二次審査	回答	可能です。なお、参加者はメーカーの社員も含め4名までです。
21	提案書様式3-1	質問	個人情報等の観点から弊社では契約先や納品実績は開示していませんが問題ないでしょうか。
	契約実績一覧	回答	必須条件ですので、必ず提出してください。
22	仕様書2-1-11	質問	検像端末を1台導入することと定義されておりますが、 ①設置場所はどちらになりますでしょうか？ ②NW接続に必要なインフラ（LAN・HUB等）の整備は必要でしょうか？ ③増設する検像端末と接続が必要なモダリティおよび接続内容をご教授ください。
		回答	①操作室内です。②必要です。③MRI装置2台です。
23	仕様書2-1-12	質問	電子カルテ端末を1台増設できることと定義されておりますが、①設置場所はどちらになりますでしょうか？②NW接続に必要なインフラ（LAN・HUB等）の整備は必要でしょうか？③増設する電子カルテ端末の仕様構成をご教授ください。
		回答	①操作室内です。②必要です。③本院で使用している端末と同じ仕様です。
24	仕様書1-3-4-6	質問	「Deep Learning技術またはそれ相当の技術による画像再構成技術・撮影法を有すること。」と定義されておりますが、「それ相当の技術」とは具体的にどのような撮像法・技術をお考えでしょうか？
		回答	撮像時間短縮や検査効率の向上等に繋がる技術を想定しています。
25	提案書様式3-3	質問	緊急支援体制の記載ですが、保守対応の記載か契約後の装置設置までの支援体制のどちらを記入でしょうか。
		回答	両方を記入してください。保守対応と装置設置までの支援体制が同じ場合は、1つのみの記入で構いません。なお、1つのみの記入の場合、その旨（「保守及び装置設置の支援体制は同様」等）を記載してください。

26	提案様式2-3 2-2-1	質問	内装工事関連のスケジュールを確定させるために貴院実施の新MRI室工事の完了予定日を教えてください。
		回答	R4.2.11予定です。内装工事については、R4.1.29までに設備電気工事等、すべての終了はR4.2.28を予定します。
27	工事区分表・55項 -共通 3装置設置に伴う諸官庁への申請関係の作成	質問	申請関係については、消防関連、保健所、電波管理局の申請でよろしいでしょうか。
		回答	お見込みのとおりです。
28	工事区分表・56項 I 建築 5 MRI室天井点検口 6 MRI室天井開口	質問	MRI室天井点検口、天井開口と記載いただいておりますが、MRI「撮影室内」の点検口、天井開口はメーカーで見込み、「操作室」、「機械室」は本工事の認識でよろしいでしょうか。
		回答	お見込みのとおりです。
29	工事区分表・56項 I 建築 24 ヘルウム排気口安全対策	質問	1次側以外の対応はメーカー対応と記載いただいておりますが、シールド層貫通部の導波管のみ、メーカーの工事区分としての認識でよろしいでしょうか。
		回答	クエンチ放出口～MRI撮影室の天井内フランジまで本工事とし、フランジから装置まで（導波管含む）がメーカー工事区分とします。
30	工事区分表・56項 I 建築 25シンダーコンクリート打設	質問	MRI撮影室へ装置設置するにあたり、床荷重は問題ないと事前にかがっておりましたが、シンダーコンクリートを打設したうえでも荷重に問題がないか、ご教示いただけませんかでしょうか。もし構造計算書がございましたら、確認させていただきませんかでしょうか。
		回答	問題ありません。本院を設計した(株)日建設計に確認済みです。なお、機器によって床への荷重が変わるため、機器決定後に構造計算を行う予定です。
31	工事区分表・57項 II 電気工事 2 装置用接地	質問	装置用接地は渡り、分岐ではなく接地端子盤から配線となりますでしょうか。
		回答	接地端子盤より単独配線をお願いします。
32	工事区分表・57項 II 電気工事 9撮影室コンセント工事 10操作室コンセント工事 11操作室コンセント工事 12ネットワークケーブル用空配管	質問	1次側以外はメーカー工事と記載いただいておりますが、シールド工事が関係するMRI撮影室内のコンセント工事はメーカーで見込んでおりますが、その他の部屋は本工事となりますでしょうか。
		回答	撮影室内はメーカー工事とし、操作室・機械室は本工事とします。
33	工事区分表・57項 II 電気工事 20 トランス(二次側電圧変更用)	質問	MRI装置への供給電源につきまして、既存MRI装置と同様の3相3線400Vとなりますでしょうか。
		回答	お見込みのとおりです。
34	工事区分表・57項 II 電気工事 23 高調波対策	質問	高調波対策とは、どのような内容を想定されているかご教示いただけませんかでしょうか。
		回答	高調波抑制対策ガイドライン及び高調波抑制対策技術指針に沿った対策をお願いします。

35	工事区分表・57項 II 電気工事 25 リモートメンテナンス用配線	質問	操作室壁面までの空配管が本工事となりますでしょうか。
		回答	操作室内壁面までの空配管及び裏ボックス取付までを本工事とします。
36	工事区分表・57項 II 電気工事 26 ネットワークケーブル用配線	質問	院内LAN配線は、本工事となりますでしょうか。
		回答	お見込みのとおりです。
37	工事区分表・57項 II 電気工事 30 緊急ランダウン用ほか電源及び幹線 31 仮設冷凍機用電源及び幹線	質問	停電時の仮設電源の内容となりますでしょうか。
		回答	緊急ランダウン用（単相100v 5AT）は常用です。仮設冷凍機用（3相200v 30AT）は導入時、メンテナンス用と考えています。
38	工事区分表・58項 III 空調・衛生設備 2 MRI室緊急吸排気ファン	質問	MRI撮影室用の給排気は外気が直接入ると湿度で上がるため、外調機の使用となりますでしょうか。また、緊急排気設備は使用していない際に外気が入らないよう、MDの取付けをお願いいただけますでしょうか。
		回答	緊急排気用の給気は外気から取る場合はMD付き、院内からパスダクトで取る場合は消音対策が必要となります。MDは、メーカーと相談し、本工事で行います。
39	平面詳細図・62P 機械室	質問	新しいMRIの機械を設置するのにあたり、既存のMRIの機械を移動することは可能ですでしょうか。
		回答	本院負担で移動することは可能です。移動を想定した場合の図面を、事前説明会・現場説明会に参加された方に別途配布します。